

◎子育て支援の経費

育児支援事業	【 こども相談課 】
---------------	------------

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 子育て家庭

意図 子育てに関する多様なサービスや情報を提供することによって、ゆとりある子育て環境をつくるため。

効果 子育て家庭に対し情報提供や育児相談に応じ、育児不安などの解消を目指す。

【事業の内容】

(1) 育児支援事業

- ・ ゆとりある子育て環境をつくるため鎌倉、大船及び深沢の子育て支援センターを運営し、子育て家庭に対してアドバイザーが子育ての情報提供や育児相談に対応した。また、親子で自由にゆっくりくつろげるフリースペースの「子育てひろば」を運営した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

子育て支援センターの充実(4-1-4-②)

深沢こどもセンターの運営(公立保育園等管理)(4-1-4-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25,218	25,218	23,415		1,803
主な支出内訳				
・ 育児支援事業				
鎌倉・大船子育て支援センター指定管理料				14,826
深沢子育て支援センター指定管理料				7,417
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				9,206
子育て支援センター利用状況				
鎌倉子育て支援センター 延				9,842人
大船子育て支援センター 延				12,677人
深沢子育て支援センター 延				7,726人

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 子育て-16 育児支援事業 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	64 育児支援事業					
		788 育児支援事業					
主管課	子ども相談課	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	子育てに対する不安を抱えている市民にくつろげる場の提供と、アドバイザーによる相談業務を行い、子育てに関する不安を無くしてもらう。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日 ・センター利用者数を 対象者数としている。		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
	対 象 者	30,245人	24,935人	21,112人			
運営資源 状 況	決算値	23,415千円	20,252千円	15,655千円			
	(国・県)	9,206千円	3,400千円	5,193千円			
	(負担金等)						
	(一般財源)	14,209千円	16,852千円	10,462千円			
	人員配置数	0.5人	0.4人	0.4人			
	人 件 費	4,812千円	3,862千円	3,943千円			
	協 働 の パートナ						
事務事業 運営経費	総事業費	28,227千円	24,114千円	19,598千円			
	市民1人当 りの経費	160円	137円	112円			
	対象者1人 当りの経費	933円	967円	928円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
子育て支援センター利用 者	◎	目 標 値	25,000	27,000	30,000		
		実 績 値	24,935	30,245			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
子育て支援センター相談	◎	目 標 値	8,500	9,500	10,500		
		実 績 値	8,659	10,498			
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
指 標	評 価	年 度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目 標 値					
		実 績 値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 利用者の地域別を見ると、鎌倉・深沢・大船地域と腰越・玉縄地域の利用者数に大きな隔りがあった。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 腰越地域の利用者数については、深沢子育て支援センターの設置により改善が見られた。 子育て支援センターのない腰越・玉縄地域には、「つどいの広場」が設置されており、連携により保護者が安心して子どもとくつろげるスペースを確保した。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 運営の改善に利用者の声を十分に反映することが出来なかった。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 指定管理者と共同で利用者の意見を確認し、運営の改善に反映させる体制作りを行う。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	利用者の声を運営改善に反映させる体制を確立していく。				
担当課長氏名:		こども相談課長 田中誠也			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 有
	地域の子育て支援の拠点としての役割を今後も拡充していく。				
担当部名	こどもみらい部	部長名	岡部富夫		